



かわら版

桑名市教育委員会イメージ
キャラクター「くわっぼ」

NO. 35

多度地区小中一貫校整備事業

開校準備委員会・地域連携部会

開校準備委員会は、第13回が6月22日（土）、第14回が11月9日（土）に開催されました。主な議題として、建築工事の実施設計や、AIを活用した校歌の作曲活動について話し合われました。また、11月の委員会では建築現場の見学会も行い、秋晴れの空の下、いよいよ建ちはじめた新しい学び舎をみなさんと見上げました。



地域連携部会は、第12回が7月8日（月）、第13回が9月30日（月）に開催されました。引き続き通学方法について確認や検討がなされ、徒歩や自転車で通学する際の注意点やルールに加え、バス停の位置やその周辺の見守りポイントについても確認しました。

今後は、通学路やバス停周辺での見守りに限らず、多度学園の様々な活動に地域・保護者のみなさまが関わっていただけるよう、さらに検討を進めていく予定です。

友だちの輪がひろがる4小プロジェクト

多度ブロック4校の小学生が、多度学園に集う前からなかよくなってほしいと取り組む4小プロジェクト。2年生のサッカー体験交流からスタートして4年目となる今年も、子どもたちは元気いっぱい活動し、新しい友だちをどんどん増やしています。新しい学び舎で一緒に過ごす日々が、今から待ち遠しいですね。

1年	「しらせたいな みせたいな」(国語)	2年	ヴァアティンサッカー体験	3年	ポッチャ体験交流
4年	紙すき体験交流	5年	お米づくり発表会	6年	桑名市議会見学(社会)



人と AI の共創♪作曲体験授業

多度学園の校歌を作成する超校歌プロジェクト。昨年の歌詞に続き、今年は作曲活動を 11 月 25 日に多度中学校のパソコンルームにて行いました。各小学校の 6 年生と多度中吹奏楽部 1・2 年生を中心としたみなさん、そして開校準備委員会のみなさんが参加されました。

当日は講師として、理化学研究所音楽情報知能チームから AI 技術の研究者と音楽の専門家が来てくださいました。参加者は 3～4 人でチームとなり、AI による作曲支援システムを使って、自分のイメージに合ったメロディやフレーズをさがし、つないでいきました。合計 130 人あまりが作曲活動を行い、40 曲ほどのメロディ案が生みだされました。今後は理化学研究所の音楽専門家により、歌詞に込められた思いを表現するすてきな校歌となるよう編曲していただく予定です。

子どもたちは『これから歌い継いでいく校歌づくりに参加するんだ!』というワクワクした思いを胸に、とても生き生きとした様子で活動していました。人と AI の共創により生みだされる多度学園の校歌。その完成を心待ちにしている姿がたくさんみられました。

今日、はじめて校歌をつくってみて、なかなかうまくいかないことがあって、難しかったです。けど、色々や、ていこうにみんなでよい校歌をつくるといっていいかと思えます。最初はみんなうてなにもおぼえなかつたけど、中小の子がはなしてきてくるとはなすこともできます。つくていこうにたんだんたのびになってきて時間になったときにみんなで「はいわ」と言っていました。時間内におわらなくても、とりたいとも思いました。本当に、学校ができてくる校歌は難しくて時間もあまりないのでつくっていることがすごいと思えました。自分たちがつくった校歌が次々とりあげられていくことが自分の中で一番うれしかったです。また、校歌をつくってみたいと思えました。



この部分に休符はいらないという部分に休符がきたりして思い通りに行かない時があったけれど AI がたたくの楽をしてくれるので迷わずにできて、技術が遊んでいるとびっくりした。

AI で作曲するという、すごく面白い体験の授業で、すごくワクワクしてりました。はじめは、パソコンの使い方が難しく、分からなかったけれど、先生たちが優しく、教えてくれたおかげで、パソコンの使い方を良く知ることができました。いざ作曲してみると、AI が提案してくれるのと、自分たちが思っているのが少し違って苦戦しました。でも、たまたまなれて、楽しくなってきました。良い校歌になっ、てほしいです。

これからずっと使われていく校歌なので、生徒のみんなが歌いやすく、楽しく歌えるような校歌にしたいと思いながら作りました。歌いやすい校歌を作るために、音の高低差が出来るだけない語面を選ぶことを意識しました。最初プロジェクトのことを聞いたときは、曲作りなんてしたことがなかったので自分ができるかなと少し不安でしたが、操作も簡単で分かりやすかったです。作業を進める中では、AI の候補に休符が多く、スムーズに歌える曲作りが難しかったです。でも、自分で曲を作っていくという楽しさや難しさを体験出来たので、完成する校歌がますます楽しみになりました。

初めて作曲体験をして、自分で作曲家さんたちは、おんなじいおんなじの曲ができるのが聞きたいくらい難しかったです。2つの音を変えたおと、すべての音を変えたくてしまう。だけど自分たちが自分で作曲した校歌も 2年後に歌うと考えるとすごくいいなと思う。この貴重な体験を通して、これから、校歌ができるのを楽しみにしてまわりたいと思う。楽しかったけど、とても楽しかった。



<かわら版>